

改訂日:2016年03月10日

製品安全性データシート

1. 【製品及び会社情報】

カタログ番号 274920/274930
 製品名 BD Difco™ M エンドーブロス MF™
 会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 住所 東京都港区赤坂4丁目15番1号
 連絡先 0120-8555-90 利用可能時間:9:00 - 17:00(土曜、日曜、祝日、弊社指定休日を除く)
 使用上の制限 研究用試薬

2. 【危険有害性の要約】

GHS 分類

物理化学的危険	火薬類	分類対象外	
	可燃性・引火性ガス	分類対象外	
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
	高压ガス	分類対象外	
	引火性液体	分類対象外	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	区分外	
	自然発火性固体	分類対象外	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	分類できない	
	酸化性液体	分類対象外	
	酸化性固体	分類できない	
	有機過酸化物	分類できない	
	金属腐食性物質	分類できない	
	健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分5
		急性毒性(経皮)	区分3
		急性毒性(吸入:ガス)	区分外
		急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性・刺激性		区分外	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性		区分外	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		区分外	
生殖細胞変異原性		区分2	
発がん性		区分2	
生殖毒性	分類できない		
特定標的臓器・全身毒性(単回曝露)	区分外		
特定標的臓器・全身毒性(反復曝露)	区分外		
吸引性呼吸器有害性	分類できない		

環境に対する有害性 水生環境急性有害性 区分外
 水生環境慢性有害性 区分外

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害のおそれ(経口)
 皮膚に接触すると有毒(経皮)
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれの疑い

注意書き

安全対策

- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 個人保護具や換気装置を使用し、曝露を避けること。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

応急処置

- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
- 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 衣類にかかった場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
- 吸入した場合空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 曝露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
- 涼しく換気の良いところで保管すること。
- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

保管
 廃棄

3.【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度 (%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
4,4'-(4-イミノシクロヘキサ-2,5-ジエニリ デンメチル)ジアニリン塩酸塩 【CI ペイシックレッド 9】	1.0-5.0	569-61-9	未設定	政令第18条の2 別表第9の57 (名称等の通知 対象物質)

4.【応急措置】

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪いときは、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り除く。 皮膚を石鹸と多量の流水またはシャワーで洗う。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外す。
目に入った場合	洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球・まぶたの隅々まで水が行き渡る様に洗淨する。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口の中をよくすすぐ。 気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
予想される急性症状および遅発性症状	吸入:咳、めまい、頭痛 飲み込み:咳、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失 皮膚に付着:発赤、乾燥 眼に付着:発赤、痛み
5. 【火災時の措置】	
消火剤	水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
特有の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。
消火を行う者の保護	呼吸用保護具を着用する。
6. 【漏出時の措置】	
人体に対する注意事項 保護具および緊急措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 風下にいる人を退避させ、風上から作業する。 漏出した場所の周囲にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項	流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないように注意する。
回収・中和	おがくず、ウエスなどに吸収させて、可能な限り密閉できる空容器に回収する。 回収後に廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆い更にプラスチックシートで飛散を防止し、雨に濡らさない。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 【取扱い及び保管上の注意】	
取扱い	技術的対策 局所排気装置・全体換気 安全取扱注意事項
	『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. 曝露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行なう。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に、また、発散した蒸気・ミストを吸い込まない様に適切な保護具を着用する。 取扱い後に手・顔等をよく洗い、うがいをすること。 取扱い場所には、関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避	データなし
保管	
技術的対策	保管場所の床は、床面に製品が浸透しない構造とすること。
混触禁止物質	データなし
保管条件	容器は密閉して換気の良い冷暗所に保管する。
容器包装材料	ガラス

8. 【曝露防止及び保護措置】

製品としての情報がないため以下、4,4'-(4-イミノシクロヘキサ-2,5-ジエニリデンメチル)ジアニリン酸【CI ベイシックレッド 9】の有害性情報を記載する。

4,4'-(4-イミノシクロヘキサ-2,5-ジエニリデンメチル)ジアニリン塩酸塩 【CI ベイシックレッド 9】

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会	設定されていない
OSHA PEL	設定されていない
ACGIH(TLV-TWA)	設定されていない
(TLV-STEL)	設定されていない
設備対策	粉じんが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。
保護具	
呼吸器の保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡(必要によるゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具	長袖保護服
衛生対策	マスク等の吸着剤の交換は定期または使用の都度行う。 この製品を使用する時に、飲食および喫煙をしない。 取扱い後は顔や手をよく洗う。

9. 【物理的及び化学的性質】

物理的状態、形状、色など	ピンクの粉末
臭い	特徴的な臭い
pH	7.2±0.1
引火点	データなし
溶解度(水)	水に可溶

10. 【安定性及び反応性】

安定性	通常取扱で安定
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化物

11. 【有害性情報】

製品としての有害性情報がないため以下、4,4'-(4-イミノシクロヘキサ-2,5-ジエニリデンメチル)ジアニリン酸【CI ベイシックレッド 9】の有害性情報を記載する。

急性毒性	
経口 (マウス LD ₅₀)	5mg/kg (RTECS)
経口 (ラット TDLo)	18200mg/kg/13W-C (RTECS)

経皮 (ウサギ LD ₅₀)	データなし
吸入 (ラット LC ₅₀)	データなし
皮膚腐食性・刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性	強い眼刺激性
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	なし
生殖細胞変異原性	小核試験: 陰性
発がん性 (IARC)	グループ 2B(ヒトに対して発がん性がある可能性がある)
発がん性 (NTP)	R(ヒトに対して発がん性がある)
発がん性 (産業衛生学会勧告)	第2群B(ヒトに対しておそらく発がん性があると考えられる物質)
生殖毒性	データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回)	データなし ラット及びマウスの13週間(約90日)混餌投与による試験において、ラットの場合に4000ppmでの甲状腺腫と肝の脂肪変化、2000ppm(≒200mg/kg)以上での甲状腺の過形成と下垂体の好塩基性過形成を除き、ラット、マウスともその他は著しい影響は認められていない。 ³¹⁾
特定標的臓器/全身毒性(反復)	同一条件下で実施された2年間発がん性試験ではラット、マウスともほぼ1000~2000ppm(≒50~150mg/kg)で腫瘍の発生頻度増加に伴う死亡率の増加が見られるが、重大な非腫瘍性の毒性変化については記載されていない。(腫瘍性病変については発がん性で取扱われる。) ³¹⁾ 上記2データより重大な毒性影響用量は90日間経口曝露でおおよそ2000ppm(≒200mg/kg)と考えられる。(区分2のガイダンス値は経口の場合、10~100mg/kg)
吸引性呼吸器有害性	データなし

12.【環境影響情報】

製品としての環境影響情報がないため以下、4,4'-(4-イミノシクロヘキサ-2,5-ジエニリデンメチル)ジアニリン酸【CI ベイシックレッド 9】の有害性情報を記載する。

生態毒性

急性・魚類(LC ₅₀)	データなし
急性・甲殻類	データなし
急性・藻類	データなし

残留性・分解性 データなし

生体蓄積性 データなし

13.【廃棄上の注意】

残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14.【輸送上の注意】

国際規制

海上規制情報	非危険物
Marine Pollutant	N/A

国内規制	航空規制情報	非危険物
	陸上規制情報	非該当
	海上規制情報	非危険物
	海洋汚染物質	非該当
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。	

15. 【適用法令】

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条1、施行令第18条の1別表第9の57)(平成28年6月1日施行) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9の57)
労働基準法	該当なし
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし
毒物及び劇物取締法	該当なし
大気汚染防止法	該当なし
水質汚濁防止法施行令第2条有害物質	該当なし
海洋汚染防止法	該当なし
消防法	該当なし
船舶安全法	該当なし
航空法	該当なし

16. 【その他の情報】

参考文献

- ・ 厚生労働省ウェブサイト 職場のあんぜんサイト
- ・ 製品評価技術基盤機構 GHS混合物分類ツール (GHS改定2版対応版)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

改訂履歴	新規作成	2011年06月09日	
	改訂第一版	2012年08月03日	カタログ#274920を追加。
	改訂第二版	2016年03月10日	様式の変更 4.【応急処置】を4.【応急措置】に修正。 9.【物理的及び化学的性質】を英文 MSDS に合わせて修正。 15.【適用法令】安全衛生法に「名称等を表示すべき危険物及び有害物(塩化水素)」を追加。